

【人間文化研究科 人類学専攻】ディプロマ・ポリシーに示された「力」とアセスメントの方法・指標

研究科専攻	課程	DPに示された「力」	アセスメントの方法・指標
人類学専攻	M	DP1：文化人類学、考古学、文化資源学に関する専門的な知識	学位論文審査基準（6項目すべて）の観点から、および大学院合同研究会での発表とそれに提示された発表資料、論文・学会発表、社会活動により、学位論文の成果を把握・分析する。
		DP2：社会の変化や文化の多様性を適確に捉え、研究資料の資源化・公共化を図る姿勢・資質と社会で活躍できる力	学位論文審査基準のうち、「研究テーマ、研究目的の適切性」「研究方法の適切性」「論証の適切性」「独自性」「倫理性」の観点から、および大学院合同研究会での発表とそれに提示された発表資料、論文・学会発表、社会活動により、学位論文の成果を把握・分析する。
	D	DP1：異文明や異文化間の対話を促進し、相互理解に貢献する能力	学位論文審査基準（7項目すべて）の観点から、および大学院合同研究会での発表とそれに提示された発表資料、論文・学会発表、社会活動により、学位論文の成果を把握・分析する。
		DP2：文化や歴史に対する深い洞察力	学位論文審査基準のうち「課題の目的と有用性」「先行研究への配慮」「方法論の適切性」「専門性」「倫理性」の観点から、および大学院合同研究会での発表とそれに提示された発表資料、論文・学会発表、社会活動により、学位論文の成果を把握・分析する。
		DP3：フィールドワークや発掘調査による資料収集能力	学位論文審査基準のうち「先行研究への配慮」「方法論の適切性」「専門性」の観点から、および大学院合同研究会での発表とそれに提示された発表資料、論文・学会発表、社会活動により、学位論文の成果を把握・分析する。
		DP4：収集した膨大な資料を忍耐強く整理・分析し、博士論文として完成させる能力	学位論文審査基準（7項目すべて）の観点から、および大学院合同研究会での発表とそれに提示された発表資料、論文・学会発表、社会活動により、学位論文の成果を把握・分析する。

方法・指標	実施時期	対象年次	結果の活用	レベル※
授業評価アンケート	毎学期	修業年限内の 全年次生	毎年Q2とQ4の終わりに実施し、アンケート結果を専攻と研究科委員会で報告・承認し、教育方法、研究環境の改善に活用。内部質保証委員会からのメタ評価と改善提案も同様に活用。	学位プログラム レベル/授業科目レベル
研究倫理教育プログラム受講実績	入学時（以降、3年に1度）	初年次	研究推進課が実施し、受講実績を大学院委員会および内部質保証委員会で報告して、研究公正の実現に活用。専攻からは大学院生に受講を促している。	学位プログラム レベル/授業科目レベル
学位論文計画書	所定の期日	修了年次生	専攻が研究科委員会に提出し共有することで、研究指導の改善に活用。	学位プログラム レベル/授業科目レベル
学位論文	1月または7月	修了年次生	学位論文審査基準に基づいたルーブリックによって学位論文を評価している。	学位プログラム レベル/授業科目レベル

※学位プログラムレベル：研究科専攻単位で実施 / 授業科目レベル：教員単位で実施